

+幸せを探すあなたへ

絶え間ない葛藤と争い その果てはどこですか？

地球上に起きた 16,000 回の戦争 今まで、地球の歴史には 16,000 回の大小の戦争が起きました。今でもその戦争は続いていて、これからも、あちこちで飢饉と戦争が起きることを聖書は預言しています。宗教の葛藤と法王権を拡大したいという欲により、3 世紀にわたって起きた十字軍戦争(1096~1291)、英国とフランスの間の長く積み重なった憎しみで 100 年間も持続した 100 年戦争(1337~1453)、ドイツを舞台にプロテスタントとカトリックの間の葛藤が表われた 30 年戦争(1618~1648)、帝国主義の植民地争奪戦と、国家間の産業の葛藤と対立で 900 万人が犠牲になった 1 次世界大戦(1914~1918)、世界経済恐慌にともなう民族主義の葛藤と世界制覇の欲により 6,200 万人が犠牲になった 2 次世界大戦(1939~1945)、ユダヤ民族に対する憎しみと嫌悪で、3 段階にかけて 600 万人を虐殺したヒトラーの人種主義、数千万人が犠牲になったスターリンの粛清と鉄拳政治、強大国の欲の中で、民主主義と共産主義の理念対立と葛藤がもたらした朝鮮戦争など、絶え間ない葛藤と争いの果ては、常に戦争と死でした。弟に対する憎しみと嫉妬がもたらしたカインの人類最初の殺人事件以後、人間の歴史の中で葛藤と争いは常に滅びと不幸をもたらしてきました。なぜ、このようなことがずっと起きるのでしょうか。

だれも教えない争いの中にかくされた秘密 幸せであるのに戦う人はいないでしょう。何か埋めることができない隠された葛藤と貪欲が、人間を戦わせるのです。神様のみことばである聖書には、人間が創造される前からあった暗やみと虚しさと混とんの実体、サタン(悪魔)という存在に対して確かに明らかにしています。サタンは天で落ちた墮落した天使(ヨ

ハネの黙示録 12:9~12)、天国で音楽を担当していた天使が高慢になり、神様に敵対して墮落して追い出された存在です(エゼキエル書 28:13~17)。このサタンは、人間に現れて悪賢い嘘で神様を疑わせ、神様との約束であった善悪の知識の木の実を取って食べるように誘惑しました。「あなたがたは決して死にません。あなたがたがそれを食べるその時、あなたがたの目が開け、あなたがたが神のようになり、善悪を知るようになることを神は知っているのです」(創世記 3:4~5)結局、サタンの策略にだまされたエバは、肉の欲と目の欲が心にいっぱいになって、善悪の知識の木の実を取って食べて神様を離れるようになりました。それ以後、人間はサタンに捕われるようになって、呪いと不幸にまきこまれる、すさまじい運命に陥るようになったのです。これこそが、サタンの願いであり、目標です。



争いと葛藤を解決する和解のいけにえ

人間の争いと葛藤、滅亡がサタンの影響ならば、必ずサタンの権威に勝つ身分だけが救い主となることができます。人間の力で絶対に解決できないので、サタンの問題、罪と運命の問題、地獄の問題、神様を離れた問題を解決するために、この世に來られて、十字架で死んで復活されることによって、真の救い主(キリスト)であることを証しされた方がおられます。その方が、まさにイエス様です。イエス・キリストを信じて受け入れる時、原罪、自分が犯す罪、先祖の罪から解放されて、サタンの権威とその運命から抜け出して、真の幸せを味わう神様の子どもになることができます。

「人の子が来たのも、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためなのです。」(マルコの福音書 10:45)

長老伝道企画時代 唯一性の答えのモデル

多元化時代にさらに切実な唯一性の答え 多元化、世俗化の波の中で、全世界の教会はキリストの唯一性に対する挑戦と迫害、イスラムとの衝突、教会分裂と異端問題など、教会内外で起きる重要な問題に出会っています。その中で、神様の子ども**の唯一性の答えは、より一層、切実に迫ってきます。**もちろん、未信者が受ける**唯一性の答え**もありますが、それはただ過ぎ去っていくことです。エジソンが電気を発明して、ビル・ゲイツがマイクロソフトを作り出したのですが、それもまた科学の発展とともに過ぎ去っていくことです。聖書が話す**唯一性は、福音にあって永遠に残る働き**のことを言います。ソロモンは日の下には新しいものがないと話しました。日の下でつかもうとすることは、みな過ぎ行くむなしなことだと言いました。唯一、ただ一つだけ、むなしなことではないのですが、それが、まさしく福音を知って救われたたましいだけが、ただ新しいものだという事実です。1テサロニケ2章19節を見れば「私たちの主イエスが再び来られるとき、御前で私たちの望み、喜び、誇りの冠となるのはだれでしょう。あなたがたではありませんか」とパウロは告白しました。ですから、重職者は、まず先に霊的な力を得なければなりません。これが神様が望んでおられることです。

唯一性の答えのための小さい実践 聖書は誰も言ってくれず、誰も理解できないサタンがもたらす霊的問題について知らせていて、それに対する**唯一の解答**を語っています。人間を倒したサタンの働きが、女の子孫で来られたイエス・キリストによって完全に踏み砕かれたと約束しています。イエス・キリストを信じるその日、神様とともにいる子どもの祝福を味わうようになることはもちろん、過去、現在、未来のすべての問題が解決されて、絶対に滅びることができない祝福を味わうようになります。出会いの中で霊的事実を持ってみことばと祈りの課題を分かち合っ、各自の祈りと考えを集めながら、連続する問題と私の考えに対して神様はどのようにおっしゃっているのか、歴史の中の人物はどのようにしたかを探してみながら、フォーラムを分かち合う時、この世の誰もすることができない**唯一性の答え**を受けようになります。そして、真の伝道者、宣教師、本当に祈る人、希望ある次世代を見つけて、投資する時、根源的な祝福を受けようになります。この時代の中で行われる皆さんの働きは、**唯一の働き**です。



神様の子どもになる 受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決してくださったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



神様の子ども**の五つの確信**

救いの確信：イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ8:15~16、1ヨハネ5:10~13)

祈り答えの確信：神様の子どもはイエス・キリストのお名前でも何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ15:7)

導きの確信：神様は聖霊であなただの中におられ、あなたのすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ14:26~27、箴言3:5~6)

救しの確信：あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さいます(1ヨハネ1:9、ローマ3:24)

勝利の確信：救われたあなたは、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます(ローマ8:31~37、1ヨハネ5:4)



神様の子ども**の毎日の祈り**

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。

今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされるようにして、私の現場に神の国が臨むようにしてください。

毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

ともに行くことができるのが真の力です

私は罪の奴隷ではなく義の奴隷です! 奴隷という言葉は、主人の思いどおりにしなければならないということを意味します。罪の奴隷になったということは、罪が思どおりに自分を治めるということです。反面、神様の子どもは義の奴隷です。誰に服従するかによって人生が変わるように、義の奴隷は神様に服従しながら、神様の導きを受けながら生きていきます。こういう人は、聖霊の導きに従って、自制して節度ある生活を送りながら一人である時間に、最も大きい祝福を見つけ出します。大きい人物は遊んでも方向があります(君子遊必有方)。そのように見れば、結局、神様の義が、私を思いどおりに治める段階がきます。以前は、罪を犯さずにはいられなかったのですが、祈りをしなくてはいられない段階を味わうようになります。以前はギャンブルをしなければ狂いそうな状況だったのに、みことばを見なければ苦しく感じられるほどになります。こういう答えが、ある日、義の奴隷になったあなたを訪れます。

未来を知る伝道者! 現場に行ったり、教会を見たりすると、問題がたくさんあります。この問題を答えとして見られない人は、伝道も、キャンプもできません。釜山ヨンドのある教会に赴任して行ってみたら、とても小さい教会でした。ところで、ある日、悟ることがきました。「ヨンドだからできる!ただ福音でこそ、ヨンドはできる。ただ聖書のとおりしなければならない。ただ伝道でなければならない。それでヨンドだからできる!」事実、その時から働きが起きたのでした。教会と福音運動は、神様が主人です。ですから、問題を正しく見なければなりません。問題を見て問題だと感じる人は失敗者です。しかし、問題を通して答えを得た人は祈る人です。何の葛藤もなく、問題も知らないならば無知な人です。無知な人も成功できるのですが、成功しても決して味わうことができません。問題は神様の答えを見る時刻表です。問題の中に陥ることもせず、問題を作ることもしないでください。少しだけ祈っていれば、勝つ力とともに、時代的な答えを受けるようになります。この時、重要なことが見られるのです。

問題は答えを見る時刻表です! モーセのしゅうとだったイテロは3つのことを分かった人でした。エジプトからイスラエルを出エジプトさせて、紅海のみわざと主の御使いが動員される血の契約(出 3:18)の奥義を分かりました。荒野を行く間に起きた問題の根源を知っていて、カナンの地を中心に世界福音化しようと考えておられる神様の未来の計画を分かった人です。私たちは、この未来を知って、先に私たちの次世代に3つのことを伝えなければなりません。最初が、福音を味わうことです。福音を味わう基準は、どんな状況の中でも「私は神様の子どもだ。神様は今、私とともにおられる!」という事実を告白して、みことばを持って確認することです。そうすれば、力と証拠は自然に付いてくるようになっていきます。二つ目、私自身と私の環境を神様に集中して、聖霊の導きをともに味わう祈りを味わうことです。三つ目、すべての生活を聖霊の導きで始めて、エリートの生活の規律をそそえながら、唯一性の答えに入る真の成功(ピリピ 3 章)が何かを知らせなければなりません。遠い未来をながめながら伝道運動を持続できる精神と心を持った、伝道に完全に目を開いた責任者(family)、すべての地域を責任を負うべき弟子組織を立てていかなければなりません。今から国別に宣教できる責任組織を立てることと同時に、訓練も始めるでしょう。仕事も上手にしなければならぬのですが、多くの人を配慮して、考えて、祈って、ともに行けるのが真の力です。ともに行く力がなければ世界福音化もできないのです。

説教_柳光洙牧師, 整理_チャ・ドンホ牧師

毎日毎日の森の泉

22日(月)

現場を生かす弟子(使徒 19:8~10)

弟子は問題と現実を事実通り見ながら、真にすぐれた神様の隠された計画を発見して、霊的な力を得なければなりません。この力を持って地域で弟子を中心にみことば運動をして、福音の光を照らす灯台の役割をする地教会を立てなければなりません。

23日(火)

体質(テモテ 3:14~17)

弟子は客観性、主観性、合理性を持って絶えず挑戦しながら、霊性を持って福音の奥義を味わう準備された人々です。そして、5つのエリート体質をそそえて、定刻祈り、常時祈り、礼拝祈りの体質を通して大きい力を得る人々です。

24日(水)

神様の答えの方法(出 12:43~51)

思ってもいないところで、思ってもいない方法で働かれること、最後にはご自分の民に祝福を与えてみことばを成就していかれるのが神様の方法です。神様の子どもは、全能者の御手の中にあるから恐れることはありません。

25日(木)

呪いから逃れなさい!(ローマ 1:18~23)

過去の水準では今日を生かせません。今日の水準では明日を生かせません。永遠なのは神様のみことばだけです。みことばを握って、自分の人生と現場、迫ってくる神様の答えを置いて祈りで実際の絵を描かなければなりません。

26日(金)

キリストとの出会い(マルコ 3:13~15)

すべての問題を解決されたキリストが私とともにおられます。そして、伝道をして、悪霊を追い出す権威もいただきました。今から聖霊の満たしを体験すれば、出会いの祝福、みことば成就の働き、弟子、伝道の門が開いて、変化の働きが起きます。

27日(土)

運命を変えなさい!(テモテ 4:1~5)

神様の子どもは確かに神様の御手の中にいます。これ以上、心配することもなくて自慢することもありません。キリストの福音を握る時、運命が変わって、暗やみの権威が崩れるようになります。神様の子どもは、いくら苦しくても、背景が天国で、聖霊の導きを受けながら、天使の助けを受ける人です。

週間メッセージ

産業宣教 死んだものを生かす重職者・産業人(使徒 2:9-11)

伝道学 | 幼い時の葛藤は時代的な答え(サムエル 3:1-18)

核心訓練 | 始まりを逃した人々(使 1:1-8)

聖日 1部 | イテロ長老の助言(出 18:13-27)

聖日 2部 | 神の奴隷(ローマ 6:15-23)

頭をカットするのに 良い日



イラスト_ユン・スルギ

土曜日の午後なのに、妻が頭が重いと言う。特に理由もなく痛いと言うので、ひょっとしたら私が何かのストレスを与えて頭が痛いのではないかと、内心、心配したのだが、知ってみたら、髪の毛がすごく伸びてしまったので、切る時になったということだった。なぜ、髪の毛を頭と表現するのは分からないが、生まれつき、天性で私は頭がうすいという境遇で、頭の重さを感じたい私には、こういう表現は、子どもたちが言うように毒だ。それなりに髪が長くて、ゆらゆらとしてもよいではないか。女性に長い髪は、自分の冠であることを知らないのかと思う。長い髪の毛が風に流される時、どれくらい美しいだろうか。ところで、それをあえて切ってしまうという意図は、また何なのだろうか。しかし、彼女たちには、それなりに理由がある。髪が長ければ、手入れが難しく、シャンプーも多く必要だということだ。私の頭ではないから、ああしろ、こうしろとは言うことができないと気づいたのか、私の周辺の女性4名が、その日、それぞれ違ったところで頭をカットしてきたことを発見した。恐らく、その日が頭をカットする日であったのか、そうでなければ、日差しが明るくなったので、頭をセットしやすい日であったのかもしれない。

人々は、時々、生活の中に知らずに入ってくる日常を止めて、課された宿題をしてしまうように、人

生のほこりをさっさと振り払ってしまいたいとあこがれる。それで、ある人はいらいらする日には、タンスを開いて、公然と服を引き出して洗濯するということだ。掃除をして、家をすっかりひっかき回してしまってから気が晴れるという人もいるというので、頭をセットしやすい日という理由をつけて女性たちが美容院に行って、頭をバツサリ切る背景には、ひょっとしてこういう話せない内的な困難であるストレスを解く理由が隠れているのではないかと思ったりもする。

季節が変われば、心も変えたいと思うが、世の中はそのように決心したとおりにはない。季節によって服も変えて、頭をセットして、雰囲気も変えるのは良い機会だが、真に私たちの人生でそろえなければならぬことは、それだけではない。

目に見えない生活の中で私たちが支配するたましいは、私たちにいる場を変えるようにと大声を出す。その声を悪霊の声として聞く人は、運命の下にあるので苦しみ声で聞くようになるが、その声を救いのメッセージとして聞く人は、考えてみることもできない祝福を味わうようになる。先祖代々、伝わる家系の相続から来る精神的なさまよいと苦しみ、酒とギャンブルと盗みグセに集中するので、結局、精神病的な執着にまで至り、自分自身と家庭と次世代まで失敗の道に入れてしまう愚かなことを周囲でたくさん見る。どこから始まったのか知らない、どこから手をつけるべきかが分からない、こういう霊的ストレスを解くことができなくて、人生は苦しさを感じて、結局、苦しみの水車から出ることができなくなる。頭が重ければ、日を決めて髪をカットすれば良いが、たましいの負担である霊的ストレスを切る機会は、人生問題の解決者であるキリストを語る伝道者に会って、福音を聞くしかない。妻に頭をカットしやすい日があるように、私の人生で救われやすい日は今日ではないだろうか。

文_チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

* 相談したい方はこちらまで連絡してください